

(様式1)

令和4年度 岩手県立盛岡北高等学校経営計画

校長：小原由紀

1 現状把握及び将来展望		児童生徒	保護者	地域住民	進路先・外部機関	
	(1) 学校に対するニーズ	・一人一人の「つまずき」に応じた分かる授業 ・自己実現・進路希望実現	・安全安心な環境 ・確かな学力、豊かな心 ・進路希望の実現	・地域社会に貢献 ・挨拶やマナー、交通安全指導の充実	・確かな学力、コミュニケーション能力 ・課題発見、解決力	
	(2) パートナーとの関係	・主体的な学び ・生徒一人ひとりに応じた指導、支援	・教育活動への理解と協力 ・情報発信と共有	・生徒の地域活動 ・教育活動への理解と協力	・大学、行政、NPO法人等と連携したキャリア教育	
	(3) 学校に影響を与える変化	・学級減、及び教職員定数減（2022年完成年度） ・社会の変化に応じた新学習指導要領、高大接続改革、令和の日本型教育、働き方改革の推進 ・新型コロナウイルス感染症への対応				
2	校訓・教育目標	校訓：師弟和熟 教育目標：国際社会における自己を自覚し、自らの人生に明確な展望を持ち、自主独立の精神でたくましく生きる人間を育成する 生徒会知-が：「進」=コロナ禍でも自分たちができることに全力で取り組み一層躍進する				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア	生徒の個性を発揮させる授業と探究活動の推進を通し、主体的に学ぶ力を育む	・「授業が分かる」生徒 【80%】		
		イ	生徒の主体的・積極的な活動を通して、豊かな感性、人間性を育み、社会性を養う。	・「人が困っているときは、進んで助けようと思う」生徒 【61%】		
		ウ	キャリア教育を推進し、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成する	・「ICTを活用した学習環境が充実したと感じる」生徒 【70%】		
		エ	心身ともに健康で自他を尊重する生徒を育む	・アンケート「相談できる環境」の回答推移から 【肯定的回答率の増加】		
		オ	主体的な読書習慣の定着を図り、社会や人間への考察を深め知性と思考力を向上させる	・図書館年間貸出冊数 【生徒1人あたり 新書 3冊】		
		カ	「チーム盛北」として家庭、地域、関係機関と連携した教育活動を推進する	・ホームページ更新回数 【年間30回】		
	キ	学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止を徹底する	・「学校生活に満足している」生徒 【90%】			
	(2) 取組方針	ア	生徒の個性を発揮させる授業と探究活動の推進を通し、主体的に学ぶ力を育む (ア) 授業アンケートの活用や授業改善研修の月例実施など、授業改善の取組を強化する (イ) 一人一人の「つまずき」の早期把握と適切な指導により分かる授業を実践する			
		イ	生徒の主体的・積極的な活動を通して、豊かな感性、人間性を育み、社会性を養う (ア) 特別活動や社会活動、ボランティア活動への積極的な参加により公共心や社会性を涵養する (イ) 主権者教育や消費者教育を充実させ、「18歳成人」への自覚と責任を促す			
ウ		キャリア教育を推進し、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成する (ア) 総合的な探究の時間「カシオペアタイム」の充実と生徒一人一人主体的な進路研究の充実 (イ) ICT活用による「知識・技能」習得とNIE(新聞活用学習)による「思考・判断・表現」涵養				
エ		心身ともに健康で自他を尊重する生徒を育む (ア) 健康診断結果の活用と緊急時における体制を確立し、健康・安全教育充実を図る (イ) アンケートを有効活用して、一人一人に寄り添った適切な支援を実現させる				
オ		主体的な読書習慣の定着を図り、社会や人間への考察を深め知性と思考力を向上させる (ア) 総合探究「カシオペアタイム」の一助として、新書レベルの本に親しめるよう導く (イ) 図書委員会を活性化し小論文学習や探究活動に利用される図書館づくりを推進する				
カ		「チーム盛北」として家庭、地域、関係機関と連携した教育活動を推進する (ア) コミュニティ・スクールを核とした情報共有・発信による教育活動推進、危機管理に努める (イ) 「スクール・ポリシー」を策定し、本校の特徴を生かした魅力ある学校づくりを推進する				
キ		学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止を徹底する (ア) 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」を推進し、未然防止に努める (イ) ささいな兆候を見逃さず、早い段階から組織的に対応する				